



園芸療法通信 2021年1月号

発行 内閣府認証 NPO 法人日本園芸療法士協会
〒061-2276 北海道札幌市南区白川 1814 番地
TEL 011-817-2950 FAX 011-817-8007

御挨拶

あけましておめでとうございます。

コロナの時代に入り、社会環境がすっかり変わりました。正月早々厳しい状況に置かれていると思います。当協会及び社会福祉法人緑友会、ワークセンター株式会社も昨年12月を乗り越えての出発をしております。

理事長始め利用者さんも無事元気しております。就労支援事業A型B型の職業リハビリテーションは順調に成果をあげ売り上げ増になっております。触法の方々の指導や見守りについては、覚せい剤の方の立ち直りが成功して、12月に結審となりました。犯罪を犯す人から本音を聞けることも当協会の指導上には、かけがいのないものとして受け止め、令和3年も勿論1人でも助けていくことを願って、本年の皆様のご多幸を祈ってやみません。

令和3年 元旦 理事長 瀬山 和子

～ピアハーフ中島公園店開店～

令和3年を迎え、みなさまいかがお過ごしでしょうか。さて、当協会正園芸療法士および正園芸療法士の資格取得をめざして園芸療法を勉強中のみなさまに、会報誌「園芸療法通信」をお届けしております。

令和2年の大きな出来事としましては、地下鉄中島公園駅に新規店舗が開店したことになるかと思います。改札すぐ横に位置し、角地という好立地です。店の特色としましては、循環式のフラワーポットでのアレンジや花束、保温ケースでの胡蝶蘭など、花の販売に特に注力した店舗となりました。



今年年会員の方に発送させていただきました×飾り・ハーブティは白川本部にて、各種クッキーは平岸作業所である天人山ビルにて手作りで作成しております。×飾りは「干支」という品になります。干支を飾った俵をもって福を運んでくる×飾りです。古来より伝わるミヤマカンスゲ（青森産）を使用しており、周囲の空気を清めてくれることでしょう。

～弱者再生環境の共生ワーキング 始まる～

札幌市南区白川1814番地の本部の土地を購入してから3年が経ちました。去年は70%まで土地を耕し廃墟4棟も温室にして大変忙しく、あっという間の年末でした。4棟の各家の中にはマムシとアオダイショウが21匹程もいて、退治しながらハウスにしましたが、そこへアライグマまでも加わり、利用者一同大変な思いをしながらの開拓となりました。



開拓が進み、畑もどんどん広がっています



素敵な正面ゲートも開設されました

その開拓した土地の用途として、本年雪が融ける5月をめどに「弱者再生環境の共生ワーキング」を計画しました。概要については下記の計画図を見ていただきたいと思います。この計画を実現できるよう、本年も増々頑張ります。

目標 植物環境から人間の養成と成長の実践

弱者再生と協同ワーキング

組織図

つみとりいちご温室
つみとり畑

職業リハビリ
就労支援センター

園芸療法ガーデン
チャイルドガーデン
高齢者の庭

温泉

日本園芸
療法士協会

キャンプ
森林浴場

休憩
売店

窓口施設
事務センター

道の駅

野菜加工センター

対象者:障がい者、
高齢者、触法少年、
一般市民

上記の図から雇用と弱者の環境を追及していくことにより、良き方向性が見えてくるものと考えられます。まずは、予算をどうしたらよいのか春までに知恵を出しながらの行動になります。

今後も協会本部の動きや支部の活動等をお知らせいたしますので、
どうぞよろしくお願いいたします。